2026年度　入社式　社長訓示

【東北電力ＮＷ　髙野社長】

１．はじめに

２．東北電力ネットワークの使命

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

４．むすび

2026年4月1日（水）13：00～

本店 大会議室

１．はじめに

新入社員の皆さん，あらためまして，入社，誠におめでとうございます。心より歓迎いたします。

今，この場所から皆さんのまなざしや表情を拝見していると，新たな夢と希望，決意とやる気にみなぎるエネルギーが“ひしひし”と伝わってきます。

皆さんには，今の気持ち，初心を忘れずに，今後配属される各職場で仕事に必要な心構え，知識や技術をしっかりと学び，実践を積み重ねることで，会社に，そして社会に貢献していただきたいと思います。

私からは，東北電力ネットワークの使命と，皆さんにお伝えしたいことについてお話しします。

２．東北電力ネットワークの使命

当社は，２０２０年４月に，東北電力から送配電部門が分社して，今年度で６年目を迎えます。

私たちの最大の使命は「電力の安定供給」であり，分社化前の１９５１年の東北電力創業以来，時代や環境が変化しても揺らぐことなく，今日まで引き継がれてきた，まさに私たちの DNA となっています。

これまで，私たちは，「お客さまに電気を絶え間なくお届けする」という熱い思いを胸に，全社員が一丸となって，社会インフラを担う公益事業としての使命と役割を果たしてきております。

至近年での一例を挙げましょう。

皆さんの記憶に新しいところでは，２０２４年１月１日に発生した「能登半島地震」においては，元日から，多くの社員が，高い使命感のもとで停電復旧対応にあたりました。新潟県内の迅速な復旧はもとより，被害が甚大であった北陸地域にも延べ 1,000 名ほどの応援派遣を行い，復旧活動の一翼を担いました。

また，昨年，２０２５年２月に発生した岩手県大船渡市の大規模山林火災では，消火活動の安全確保等のために，一部地域において送電停止する事態もありましたが，「地元自治体等との連携」や「全社的な応援体制の構築」などにより，火災の鎮圧が宣言される前に安全を確保しながら送電を再開させるなど，一丸となって迅速な対応を果たしました。

もちろん，これらは東北電力グループ一体となって対処した例ですが，長年にわたり，度重なる災害に対しても，地域の皆さまに安心をお届けするため，
停電の早期復旧に向けて全力を尽くしてきたという歴史があることを，まずは心に留め置いていただきたいと思います。

そして，今日から，皆さんとこの使命を共有し，一緒に仕事ができると思うと，大変嬉しく，そして頼もしくも感じております。

続いて，これからは，皆さんの会社人生のスタートにあたり，心してほしい２つのことについてお話しいたします。

１点目は，「チームワークとコミュニケーション」についてです。

会社における最大の財産は「人財」であり，私たちは「人財」と「チームワーク」は会社の礎であるとの想いを大切にしながら，日々，業務にあたっています。

仕事は，自分ひとりだけで成し遂げられるものではありません。

物事に対する考え方や，得手・不得手も異なります。

だからこそ，お互いが知恵を出し合い，議論を重ねながら最適なものを追求し，組織の力に結集させていく必要があります。

先ほども触れたとおり，とりわけ災害時の対応では「チームワーク」が重要です。

チームワークを最大限発揮するためには，日頃から，上司や先輩，工事会社の皆さまなど，ともに働く仲間たちと良好な関係性を築いておくことがとても大切です。

これから皆さんには，数多くの素晴らしい出会いが待っています。気おくれすることなく，頼ってみてください。自分から積極的に人の輪に飛び込み，コミュニケーションを図っていただくこと期待しています。

２点目は，「コンプライアンスと安全最優先の徹底」についてです。

ご承知おきのとおり，コンプライアンスは，企業倫理や法令遵守のことですが，企業活動をするうえで根底をなすものですので，その対応如何によって信頼を大きく左右するものになります。

とりわけ，社会のインフラを担う公益的事業者である私たちにとっては，コンプライアンスを遵守し，安全・安心な事業運営を通じて，お客さまや地域社会の

皆さまから信頼していただくことはとても大切です。

皆さん，想像してみてください。

当社および東北電力は，安定供給という形で世間に安心感を与える反面，世間の生活に直結する影響を及ぼすので，大いに注目を浴びております。

その点を踏まえると，長年にわたり，先輩方が築き上げてきた，地域やお客さまとの信頼関係を，より強固なものにし続けていくためには，会社での行動だけでなく，地域社会の一員として，しかも世間の模範となる更に高いレベルの行動が求められていることを，私たちは強く自覚しなければなりません。

皆さんには，それだけ期待感をもって見られていることを，あらためて自覚していただき，当社および東北電力にとってのコンプライアンスの意味するところを理解し，心ある行動を心がけていただくよう期待します。

また，安全に関しては，私たちは「電気のプロ」として，安全の感度高く従事すること，安全最優先で行動することが，仕事の土台となります。

日頃から，自身の安全を第一に行動するとともに，働く仲間に対しても，「目配り，気配り，心配り」の気持ちをもって，安全な文化をともに創り上げてまいりましょう。

４.むすび

最後になりますが，皆さんが思い描いている会社人生を充実させるために，私が考えるキーワードは，

・東北電力グループとして果たすべき電力の安定供給という「使命」，

・困難な課題に対しても「常に挑戦する気概」，

・そして，大好きな東北・新潟地域の暮らしを支えているという「誇り」です。

これらを胸に，共に未来を切り拓いてまいりましょう。

私自身，皆さんと出会い，これから共に仕事ができることに“ワクワク”しております。

皆さんが，今後大きく成長されることを期待して，私からの訓示といたします。

以　上